

校歌

作詞 山本健吉 作曲 團伊玖磨

明るく大らかに M・M ♩ = 112~116



ことのをの みねのまつかぜ どうぎきの



はなにかよひて さつきまつは



なたちばなにむかしのかいま



もただよふ かぜかおるわ



かきのぞみはひのおかの



おのこがぬーかにかがやくよつよ



くーきびしくたーくーましくつよ



くーきびしくたーくーましく

一、琴緒の峯の松風
堂崎の鼻に通ひて

五月待つ花たちばなに
昔の香今もただよふ

風薫る若き望みは
陽の丘の男子が額に

かがやくよ
強くきびしくたくましく

二、雪かぶる多良のなぞへの

なだらかに海に裾引き
長與浦ゆたにたゆたに

真珠なす白きさざなみ
寄するごと清き思ひは

筑紫野の乙女の胸に
宿るかな
さどくやさしくさはやかに

三、長崎の鐘のひびきは

平和の願ひを傳ふ
生きよ命よ手をつなげ

志は青雲に馳せ
眼路の涯あがる雲雀に

学舎の子らが瞳よ
澄みきはむ
あでに明るくきららかに